事務事業評価&総合計画実施計画調査シート

	コード		名	称		区分	コード		名	称		
事業名	1037	人	推進拠点づくり事	类		会計	01	一般会計				
尹未口	1037	八世秋日	正性波点フィッチ	**		款項	10	教育費				
基本								社会教育費				
施策	30	出いる歌の	り口い、タイトの	人の人権を导里する		目	08	教育集会所費				
施策	4	上按依笠		細目	102	教育集会所事業経費						
施策	1	人惟肥束	の総合的推進			細々目	03	人権教育推進拠点づくり事業				
基本	計画該	当頁		147	行	行革大綱の重点事項番号						
担当部課	コート	*	5 5 1 2 0 0		言	平価者	山下 豊		連絡先	45 -	4482	
江의리하林	名称		いがまち人	権センター	E	氏 名		山下 豊	连给元	(内線)		

事業	の計画・内容	<u>¥</u>									
			対象等(何	を、誰を)			成果(どうなるのか)				
事業目的	地区小中学	生				各種教室等事業を通じ地域の小・中学校の低学力のする。また、参加することにより仲間づくりができ、より一見 題解決に向けての推進が図れる。					
#FI #	加汁水,西姆	<u>~~</u>	対象件数	76人)						
	処法令·要綱		左车								
		<u>成</u>	年度	関連事業							
終		成	年度								
本年度事業内容	·柔道教室 等、同和教	音楽 育推		動小・柘植中へ	□学生地区学習会 		各種教室や地区学習会において地区外の児童生徒の参加が増加し、より広域的に部落問題に取り組むことができた。				

整備内容

正備12日	
1 建設用地	
2 建設面積(延床面積)	
3 規模·構造	
4 総事業費	FR

演学休制

建合体制	
1 運営主体	
委託先	
2 配置(予定)人員	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
3 年間運営費	千円
4 市内の類似施設	

事業類型 2次評価対象分 ソフト事業 事業種別 単独

事業実績

活動指標	単位	実終	責値		目標値			
/白里//1日代示	丰田	H17		H18	H19	H20		
柔道教室開催回数	回	目標	目標	96	96	96		
未但教主用作四数	ш	実績 96	実績	96	90	90		
音楽教室開催回数		目標	目標	25	25	25		
白米教至用惟凹数	쁘	実績 25	実績	20	20	25		
小学校·中学校地区学習会開催回数		目標	目標	100	140	140		
小子仪 中子仪地区子自云用惟凹奴	삠	実績 100	実績	137	140	140		

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実終	責値	目標値		
争集の成未を則る相信	担保設定の与えり	丰世	H17	H18	H19	H20	
各種教室等の参加者数	古種教皇の参加者を促り、地域住民が自ち の活動交流を行い、より一層の人権文化の	1	目標	目標 95	106	109	
	の点動文派で1]い、より一層の人権文化の 向上につかげることから指揮とした	^	実績 96	実績 96	100	109	
			目標	目標			
			実績	実績			

	評価		
ı	評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
	必要性	4	教育集会所は、地域のコミュニティーセンターとして地域における同和問題をはじめあらゆる差別の解消に向けた取り組 みを行っている。特に、低学力や未就労の実態があり以前として改善されていない状況にある。より一層の生活の安定向 上を図るため生活・教育・就労分野での自立促進に向けた取り組みが必要である。
	有効性	4	参加者は、地区内に留まらず周辺地域の参加者もありスポーツや学習を通じ部落問題の解決に向けて取り組む輪が広がっている。
	達成度	3	ほぼ計画通り達成できた。
	効率性	3	補助費・委託料で1割の削減を行った。事業規模は、地区の児童・生徒数は若干、減少するものの地区外の児童・生徒の参加者の増加が期待できるためコストは、現状維持となる。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
Α	現状維持	各教室の経費の見直し。

	年度				平成17	7年度	決算	内容	平成1	8年度	き 決算	内容		9年度 記		平原	\$20年	度 計画	内容	平成2	1年度	計画内容	Z	P成22	年度 計	画内容			
	十反						III.	事業内容	数量	単位	金 額	事業内容	数量	単位	金 額	事業内容	数量 単	全位 金額	事業内	容数:	量単位	金 額	事業内容	数量	単位 金	事業に	内容 数	数量 単位	金額
進捗	委託					=	委	償費 託料			,	報償費 委託料			1,350	報償費 委託料		1,2	026 報償費 200 委託料			1,050	報償費 委託料		`.	F円) ,026 報償費 ,050 委託料			(千円) 1,026 1,050
状	工事						そ そ	用費 の他				常用費をの他				需用費 その他		-	09 需用費 741 その他			109 603	需用費 その他			109 需用費 603 その他			109 603
況						= 1	1																						
i																													
	(%)						事	業 費 計(A)			3,633	事業費計(A)			3,224	事業費計(A)		3,0	76 事業費計(A	.)		2,788	事業費計(A)		2	788 事業費計	(A)		2,788
		事	業投	人人	l		人	件費(B)	0.6	人	4,320	人件費(B)	0.6	人	4,320	人件費(B)	0.6	人 4,	20 人件費(B)	0).6 人	4,320	人件費(B)	0.6	人 4	,320 人件費(В)	0.6	4,320
	7	フル:	コスト	(A) ·	+ (B)						7,953	В			7,544			7,3	396		-	7,108			-	,108			7,108

事業費(人件費除く)の財源内訳

<u> </u>							
(A)	事業費	3,633	3,224	3,076	2,788	2,788	2,788
	国庫支出金						
A	県 支 出 金						
() H J	地方債						
海	受益者負担						
山山	そ の 他						
訳	一 般 財 源	3,633	3,224	3,076	2,788	2,788	2,788
м	計	3,633	3,224	3,076	2,788	2,788	2,788
	その他特定財源の名称・補助基本額・						
考	率 地方債の区分と充当率等						
	地刀頂の位刀と兀ヨ李守						